

令和6年度 第2回総務委員会 議事録

作成日	2024/12/10	所 属	みやぎ工業会・事務局	作成者	尾形 武則
開催日時	令和6年9月11日(水) 15:00～16:30		場所	生涯学習支援センター 5F 会議室	
出席者	・ 委員 勝山委員、三國委員、小西委員、木村一郎委員、油井委員、和田委員、 ・ オブザーバ みやぎ工業会 厨川氏、・事務局 青沼専務理事、尾形				
議題・目的	委員長・副委員長の選任、通常総会・工業会サロン実施報告、ものづくりカレッジP/J進捗況				

議事内容

◆委員長、副委員長の選任

- ・総務委員長に北日本電線の三國氏が、また副委員長に東北計器工業の小西氏が新たに選任された。

◆前回議事録：外国人労働者の紹介に関して

- ・事務局でネパール人の人材紹介をする機会があったが、習慣の違いや手続きの煩雑さなど、外国人の紹介をするには、きめ細かなサポートが必要になることを改めて実感した。日本企業へのベトナム人の就労支援をするHDTという会社の入会を断ったが、ベトナム人を日本に送り込むだけで、その後のサポートは一切しないため、そのような会社には人材を紹介されても、トラブルになる可能性がある。

◆各委員会の活動計画、活動状況：機関誌 MIA レポートでの新会員インタビューについて

- ・会員数を増やすという全体目標があるため、MIA レポートでの新会員インタビューでも、新会員から工業会に入会したメリットを聞き出し、広く展開していくことが必要ではないかという意見が出された。
 - 現状は、新会員がどんな企業なのか、既存の会員に知ってもらうことを第一の目標にしている。
 - 工業会の新たな入会希望については、様々な方々（会員、非会員）からの紹介や、メルマガなどの工業会発信の情報が県内企業に流れて、引き合いが来ることが多い。

◆令和6年度通常総会の実施報告

- ・通常総会の収支実績は343,000円の持ち出しになった。通常総会は年間予算として組んでいるが、今回の持ち出し金額は例年よりも大きく、詳細な年間予算上の精査は未実施だが、予算を超過していると思われる。金額が膨らんだ原因は、講師謝金とTKPで実施した会場費が例年よりも高かったため。

◆令和6年度工業会サロン・納涼祭 実施報告

- ・工業会サロン（グループ討議形式の懇談会）に出席した感想として、とても良かったという意見が寄せられた。県内の中小企業の経営者層と、いろいろな意見交換ができたのが、本当に良かった。もっとPRして参加者を増やしていけば、工業会に入会している意義にも繋がっていくと思う。
 - 工業会サロンは、実際の参加者からは面白かったという意見を頂くが、例年、参加者が少なく、このイベントの魅力を如何に広く伝えて、参加者を増やしていくかが本事業の課題となっている。

◆ものづくりカレッジプロジェクト進捗状況について

- ・本P/Jは大卒人材の県内定着に向けた取組で、1、2年次の導き教育、3年次のインターンシップ、4年次の就職活動を経て、県内定着を目指すだけでなく、県外からのUIJターンも対象と考えている。
- ・ほとんどの会員企業はHPを持っていて、そのうち採用情報が掲載されているのが7割程度、マイナビを活用している企業は10%に満たない。今の学生はマイナビで企業情報を検索するため、会員企業の10%程度しか学生には見えていないことになる。このため、1、2年次の教育で、県内のものづくり企業を知ってもらう仕組みを作り、工業会のHPを活用して学生に県内企業を見えるようにしていきたい。
- ・本P/Jはインターンシップや企業訪問、工場見学がスタートとなっていて、これは教育というよりも就職支援プログラムに近いが、内容を見直すことで、人材育成や社会人育成の教育にしていけると考えている。会員企業は待ちの姿勢ではなく、大学に出向いて授業などを行う。そして、学生たちに会社を印象付けることができれば、インターンシップを始め、入社の対象にもなってくる可能性があると思う。

以上